

「奄美地域 地域振興の取組方針」の作成について

1 趣旨

おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにした「かごしま未来創造ビジョン」（平成30年3月作成。以下、「ビジョン」という。）を補完するものとして、各地域振興局・支庁において、地域の課題や分野別の取組の方向性を明らかにする「地域振興の取組方針」（以下、「取組方針」という。）を作成する。

なお、作成に当たっては地域の有識者や各種団体の代表者等からなる「地域懇談会」を開催し、地域課題やその解決方法などについて意見交換を行う。

2 取組方針の構成（案） ※分量は概ね20頁程度**第1章 時代の潮流と奄美地域の現状・課題**

- 1 人口減少・少子高齢化の進行
- 2 地域の産業構造の状況
- 3 高度情報化・技術革新の進展
- 4 エネルギー・環境問題への対応
- 5 価値観・ライフスタイル等の変化

第2章 奄美地域のポテンシャル

- 1 豊かな自然環境
- 2 安心・安全で豊富な“食”
- 3 個性ある歴史と多彩な文化
- 4 地域資源等を活用した個性ある産業
- 5 豊富な「ウェルネス」（健康・癒やし・長寿）素材

第3章 分野別の取組方針

- 1 教育・文化・スポーツ
（教育環境づくり，青少年の健全育成，文化・スポーツ振興 など）
- 2 保健・医療・福祉
（健康づくり，医療提供体制の整備，地域包括ケア，子育て支援 など）
- 3 環境・エネルギー
（自然環境，廃棄物対策，再生可能エネルギーの導入促進 など）
- 4 まちづくり
（交通・情報インフラ整備，景観，防災・減災，共生・協働，防犯対策 など）
- 5 地域産業
（産業振興，PR，誘客促進，輸出促進，産業人材育成 など）

3 作成スケジュール

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 8月 | 第1回懇談会（ビジョン概要説明，地域課題等に関する意見交換等） |
| 9～11月 | 取組方針（案）案の作成 |
| 11～12月 | 第2回懇談会（取組方針案に関する意見交換） |
| 2～3月 | 取組方針の決定 |

「かごしま未来創造ビジョン」と「地域振興の取組方針」の関係性について

かごしま未来創造ビジョン
(平成30年3月策定)

県政全般にわたる最も基本となるものとして、おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島県の目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにするもの

鹿児島県の目指す姿【ビジョン 第4章】

「鹿児島に生まれてよかった。鹿児島に住んでよかった。」と実感できる鹿児島

ひとが輝く鹿児島

地域に誇りを持ち
多彩な個性と能力を發揮

ひとが潤う鹿児島

どこよりも幸せを実感

ひとを魅了する鹿児島

元気な産業と
世界に選ばれる逸品を創出

ビジョンを補完

施策展開の基本方向【ビジョン 第5章】

- I 誰もが個性と能力を發揮し活躍できる社会の実現
- II 地域を愛し世界に通用する人材の育成と文化・スポーツの振興
- III 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
- IV 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療の確保
- V 豊かな自然との共生と地球環境の保全
- VI 安心・安全な県民生活の実現
- VII 暮らしが潤い世界につながる県土の創造
- VIII 個性を生かした地域づくりと奄美・離島の魅力の發揮・振興
- IX 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現
- X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興
- XI ライフスタイルをデザインできる働き方の創出
- XII 持続可能な行財政運営

本県の魅力・イメージ向上や地域資源の高付加価値化等を図るため「**鹿児島県のウェルネス**」というキーワードを用いて施策を展開

地域振興の取組方針 (平成30年度中に作成予定)

「かごしま未来創造ビジョン」に沿って、各地域における地域特有の課題やポテンシャル、分野別の取組方針などを示すもの

取組方針の構成 (案)

第1章 時代の潮流と地域の現状・課題

第2章 地域のポテンシャル

第3章 分野別の取組方針 (項目は一例)

- 1 教育・文化・スポーツ
- 2 保健・医療・福祉
- 3 環境・エネルギー
- 4 まちづくり
- 5 地域産業 等

※地域の意見を反映させるため、地域懇談会(仮称)を開催

ビジョンを踏まえて作成

※鹿児島県のウェルネス

「健康・癒やし・長寿」に役立つ鹿児島県の良質な地域資源(豊かな自然、美しい景観、豊富な温泉資源、安心・安全な「食」など)